

最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅲ

都技 生涯 研修

[重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的によりZOOM（ズーム）システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（*オンライン環境がない方は会場参加可）。
2. **本研修会は東京都保健局よりの委託事業となっております。**
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- ① 一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員
- ② 東京都内在住在勤歯科技工士
- ③ 学生並びに都技メイト会員（技工学校卒業後2年度内の方）

[申込方法]

- ① 下記QRコードを読み取り、お申し込みください。



申込用QR

*QRコードが読み取れない方は下記アドレスまでご一報ください。
メールアドレス：sya-togi@muf.biglobe.ne.jp

- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

*定員になり次第締切させていただきます。

[LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願い致します。



都技LINE公式
アカウントQR

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail：sya-togi@muf.biglobe.ne.jp

令和2年度

最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅲ

オンラインセミナー

加速するデジタル化に “今、何を備え、何をすべきか？”

第1部

フリーのインプラント・サージカルガイド・
デザインソフト『ブルースカイプラン』の使い方セミナー
～アライナー矯正・フルデンチャー・クラウンブリッジ・セファロ分析・モデル制作のモジュールの紹介～
難羽 康博 先生

第2部

歯科技工所のデジタルシステムの変遷と活用例
～デジタル機器の進化は破壊的イノベーションなのか～
藤田 岳志 先生（札幌幌デジタルラボラトリー 取締役・デジタル推進担当）

Tokyo master course Science Lecture



[開催日時]

令和2年 **12月6日** 日

受付 **12:40** 開始 **13:00** → 終了 **17:00**

オンラインセミナー

定員 **60名**

参加費 **無料**

会場受講

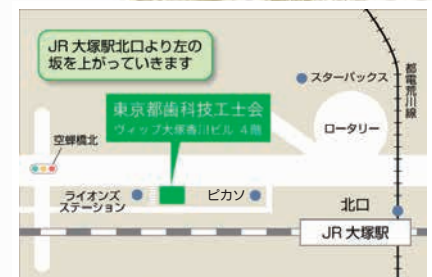
定員 **10名**

参加費 **無料**

場所 **東京都歯科技工士会 研修室**
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

[担当] 本部

一般社団法人 東京都歯科技工士会



今、何を備え、何を加速するデジタル化にすべきか？

コロナ禍の終息がまだ見えない今日、世の中の流れは変わりつつあり、私たち歯科技工業界も例外ではなく、デジタル化の波を感じる方も多いのではないのでしょうか？

今回はデジタル技工に精通された2名の講師にご講演頂きます。

第1部 13:00~14:45

フリーのインプラント・サージカルガイド・
デザインソフト『ブルースカイプラン』の使い方セミナー
～アライナー矯正・フルデンチャー・クラウンブリッジ・
セファロ分析・モデル制作のモジュールの紹介～

このソフトはアメリカのインプラントメーカーが提供している無料のソフトです。プリントするためにSTLファイルとしてエクスポートするときに課金されます。無料とはいえ、完成度は高く、「ガイドのデザインソフト」と「アライナー矯正」（マウスピース矯正）はすでに臨床で使われています。今回は「ガイドのデザイン」を中心にデモンストレーションで紹介いたします。

■講師略歴

難羽 康博

[なんば やすひろ]



略歴

- 鳥根県歯科技工学校卒業
- 歯科医院に勤務後24才で上京
- 桑田正博研修会シニアコース修了
- 国際デンタルアカデミー DTS13期修了
- 早稲田歯科技工トレーニングセンター修了

- 1993～2001 早稲田歯科技工トレーニングセンター
主任インストラクター就任
- 2003 東京整体療術学院修了。整体師資格（民間資格）取得
- 2009～2012 早稲田歯科技工トレーニングセンター
統括マネージャー就任
- 2012～2015 早稲田歯科技工トレーニングセンター
CAD/CAMクラスインストラクター就任
- 2015～2017 ストローマンジャパンテクニカルサポート就任
- 2017 デンタルCAD デザイントレーナーとして起業
(会社名アスパイア)

咬合・整体・健康・歯型彫刻・CADデザイン・教えること・
自己啓発・人工知能に興味あり。

第2部 15:00~16:45

歯科技工所のデジタルシステムの変遷と活用例

～デジタル機器の進化は破壊的イノベーションなのか～

現在、国内では人口減少に起因する生産年齢人口（15～64歳）の減少によって、特に中小企業では人手不足が深刻化しており、今後益々厳しい状況が予想されています。この状況は歯科技工業界においても例外ではなく、今のまま歯科技工士のなり手が不足し技術の継承が困難な状況が続くと、国民に良質な歯科技工物を安定的に提供することが難しくなることから、歯科技工士不足が歯科業界全体の問題であるということ、最近になってようやく耳にするようになってきました。

ところが、わが国では1993年の時点で、将来、歯科技工士が減少することを予想しており、歯科技工士の作業工程の自動化や効率化を図ることで職業自体の魅力を増大させ、将来のために人的発展基盤を形成することを目的としたプロジェクト「次世代オールデバイスエンジニアリングの開発」※1が推進され、私も25歳の時に縁あってこの大型プロジェクトに参加させて頂いたのが歯科用CAD/CAMとの出会いになります。本プロジェクトの目的は、歯科技工士の強みである緻密な作業を残しながら、デジタル機器により効率化を図るというもの、現在に至るまで、金属酸化物（アルミナ・ジルコニア等）の歯科への応用や、ハイブリッドレジンをを用いたクラウンの製造など、当時思い描いていたビジョンが脈々と受け継がれております。

今回は、そのころから27年間、国内外のデジタル機器の変化を見続けてきた結果をふまえ、歯科用CAD/CAMの変遷や現時点の当社の歯科用CAD/CAMの運用事例、また、年齢階層や規模に合わせたデジタル機器の活用方法についてお話をさせていただきます。

※1 通産省（現 経産省）/NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）傘下のプロジェクト

■講師略歴

藤田 岳志

[ふじた たけし]



略歴

- 1991年 ㈱札幌デンタル・ラボラトリー 入社
 - 1993年 通産省「次世代オールデバイスエンジニアリングシステムの開発」に参加
 - 1998年 同社 営業事務課 課長代理
 - 2003年 同社 総務課 課長
 - 2006年 社内キャリア・コンサルティング開始（新入社員教育担当）
 - 2007年 同社 総務部 部長代理/社員相談窓口設置
 - 2008年 同社 総務部 部長
 - 2013年 ㈱SDL・HD 総務担当 執行役員
 - 2014年 同社 総務担当 取締役
 - 2016年 同社 経営企画担当 取締役
 - 2020年 同社 デジタル推進担当 取締役
- 資格等
- 2級キャリア・コンサルティング技能士
- 所属学会等
- 日本歯科技工学会
 - 日本デジタル歯科学会

*講演内容により時間が前後する場合がございます。予めご了承ください。

*講演終了後質疑応答を行います。17時終了予定です。